

## 今月の重点管理目標－繁忙期の事故防止－

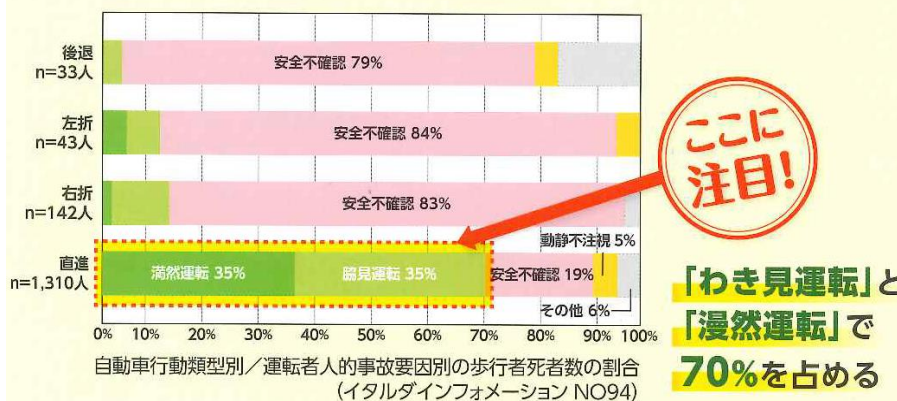
1

### 「漫然・わき見運転」を防止しよう

忙しい年末の繁忙期になると、人も車も集中力を欠いた行動が目立つようになります。集中力を失うと直進時に漫然運転やわき見運転で歩行者事故を起こしやすくなるので注意しておきましょう



#### ●直進時は歩行者との事故を起こしやすいので注意



#### 事故事例に学ぶ

#### 対向車線から横断してきた歩行者をはねる

2014年12月、兵庫県の県道交差点を通過しようとしたトラックが、信号待ちをしていた対向車線の車列の間から横断してきた高齢歩行者に気づくの遅れ衝突し、死亡させました。運転者はまさか横断者はいないだろうと軽く考え、対向車線側の安全確認をしていませんでした。



#### 教訓

右から横断してくる歩行者は発見が遅れるので、死角が多い場所では要注意

2

### 翌朝の酒気残りを根絶する

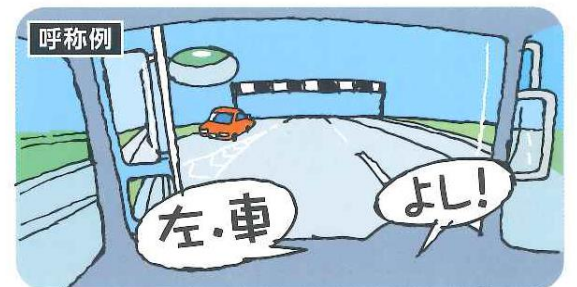
この時期は酒を飲む機会が多くなるので、前の晩の酒が早朝まで残ってアルコール検査で数値が出ないように、適正な飲酒を心がけましょう。運転するまでの時間から逆算して、いつ飲酒を切り上げるか自覚しましょう。



3

### 漫然運転を防ぐために呼称運転を励行

交通事故の約3割は「安全不確認」で起きており、安全確認を確実に行うには「呼称運転」が有効です。呼称運転は危険な対象を声を出して確認しまうので、意識レベルを高める事ができ、漫然運転を防ぐことができます。



合流車を認めた際には「左・車」と呼称して注意を払い、前方に進入してくる場合には、車間距離が十分かを確認して「よし!」と呼称する。



#### 事故防止のヒント

#### 車内への「わき見」に注意

運転中にタバコに火をつけたり、オーディオを操作するときなどの動作は、無意識のうちにやっており、どうしても前方から目線がそれて「わき見」になります。運転操作以外の動作をするときは、意識して前方から目線をそらさないようにしてください。

